

# 普及センターだより

留萌農業改良普及センター  
平成29年1月

## 重点 活動

普及センターでは、留萌管内に3カ所の重点活動地域を設定し、活動拠点と位置づけて、各地域の状況に応じた課題を取り上げ、解決を図っています。重点地区で得られたノウハウは、速やかに地域内にフィードバックされます。

### 「重点地区の懇談会を実施しました」（本所地域係）

本所地域係では、今年度から羽幌町築別2地域8戸を重点対象としています。主な活動内容は、水稻の共同作業の推進、大豆の省力栽培の推進、秋まき小麦の適正施肥の推進です。4月から各作物の調査、講習会、懇談会等を実施してきました。

今回の懇談会(12月22日開催)は平成28年度の活動経過の報告と次年度に向けた活動内容の協議を行いました。普及センターからは各作物の調査結果や営農ナビを使用した経営評価について報告を行い、重点地区の皆さんからは「重点地区になって勉強になった。次年度も積極的に活動したい。」等の意見が出され有意義な懇談会となりました。

この日は、さらに築別地区産そば粉を使い、生産者と職員が打った手打ちそばの試食会も実施され重点地区の皆さん、関係機関、普及センター職員でおいしくいただきました。



# 地域活動

農業技術指導や情報提供、経営改善の支援や法人経営の育成、農業青年や女性グループなどの担い手支援、クリーン農業の支援、6次産業化や食育の支援など多岐にわたる活動を実践しています。

## 水稲の無代かき・直播で新たな輪作体系へ（南留萌支所地域係）

南留萌支所では水稲の無代かき栽培、直播栽培の普及に取り組んでいます。

無代かき栽培は育苗が必要な点は慣行栽培と同じですが、乾田化がすすむことにより土壌中の窒素分の有効利用や畑作物への転換が容易になり、連作障害の回避効果などが期待できます。

直播栽培は、育苗作業が省略できるため育苗に係る労働力と資材を節約することができます。しかし、生産の不安定性や利用できる品種が限られるため、なかなか普及が進んで来ませんでした。

南留萌支所では無代かき栽培・直播栽培の安定化に向けて平成26年度から栽培技術の紹介・実演に取り組んできました。また、12月には直播栽培により生産されたお米の試食会を行い、関係者に利用価値の高さを確認してもらいました。



## 畜産クラスター事業の活用による

肉牛生産を目指して（北留萌支所地域係）

天塩町では農家戸数が減少する中で、広大で豊かな草地を有効活用するために和牛放牧による繁殖基地を目指した取り組みが始まっています。

搾乳を中心として発展してきた地域にあって、和牛の導入は全国的に子牛を生産する農家が減少する中で、新たな取り組みとして注目されています。

そのためには、生産技術の向上や関係機関の情報交換が必要なことから、毎年、和牛放牧組合が中心となり、研修会や先進地視察が行われています。

本年も、生産者、関係機関の知識や情報交換を目的とした研修会や先進地視察が行われ、地域が一体となった取り組みが行われています。



## 留萌管内高付加価値化研修会を開催しました（本所広域）

11月10日遠別町生涯学習センター「マナピィ21」にて、留萌管内高付加価値化研修会を開催しました。

研修会では、(株)田中青果 統括本部長田中美智子氏による講演と、「食工房おると」店主古屋敏浩氏から遠別町「花菜夢」の野菜を活用した16種類の料理の提案と講演をいただきました。

田中氏からは、野菜のトレンドや一手間加えて高級感を演出するディスプレイの方法についてご紹介いただきました。

古屋氏からは、「農業者とつながり、野菜をたくさん使った料理を作る」というコンセプトのもと、ターゲットを絞った、お客様に喜ばれる店づくりをしている古屋氏の活動を伺いました。

参加者からは、「野菜の見せ方が勉強になった」「食材の加工、調理の仕方が参考になった」などの意見がありました。

今回の研修会が、今後の新しい高付加価値化に取り組むきっかけになることを願っています。



## 平成28年度「北海道指導農業士現地研修会inるもい」

開催を支援(本所広域)

平成28年度「北海道指導農業士現地研修会inるもい」(北海道指導農業士協会主催)が、8月29日(月)～30日(火)に留萌管内で開催されました。

普及センターは、るもい指導農業士・農業士会、留萌振興局農務課等と協力して、現地研修会を成功させるための準備をしてきました。

台風が接近していましたが、当日は好天に恵まれ、全道から74名が参加し、現地視察(指導農業士の農場、留萌市幌糠農業・農村支援センター、小平町住吉農業経営研究会女性グループによる活動紹介、留萌農業の紹介・PR)、交流会など予定どおり開催されました。

2日目は全道的に悪天候となってきたため、一部の会員は、朝と昼に帰宅の途に着きましたが、研修会は無事終了しました。

参加者からは、「指導農業士・農業士、関係機関が一丸となって迎えてくれて、留萌管内の農業、指導農業士・農業士の活動が良く分かった」との声が聞かれました。



本 所 苫前郡羽幌町南6条2丁目16番地4 JAオロロン地域農業振興センター内  
TEL(0164)62-1779 FAX(0164)62-2474

メール rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

南留萌支所 留萌市住之江町2丁目1番地 留萌合同庁舎

TEL(0164)42-8493 FAX(0164)42-4079

メール rumoi.minaminoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

北留萌支所 天塩郡天塩町新栄通9丁目 天塩合同庁舎

TEL(01632)2-1562 FAX(01632)2-1082

メール rumoi.kitanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ「るもい農業情報ひろば」

<http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index/index2.htm>